

本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 20 年 7 月 28 日
 理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2008 年上半期及び 6 月推計値、4 月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

1 月～6 月：訪日外客数 / 前年同期比 10.0% 増の 433 万 7 千人に……P3

1 月～6 月：出国日本人数 / 前年同期比 4.8% 減の 793 万 9 千人に……P3

2008 年上半期及び 6 月 推計値

頁/Page

総括表：2008 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
 2008 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

解 説：2008 年 6 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-15

2008 年 4 月 暫定値

数 表：2008 年 4 月 主要国 国籍/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 16
 Visitor Arrivals by Nationality & Purpose of Visit for Apr. 2008 (provisional figures)

2008 年 1 月～4 月 主要国 国籍/目的別 訪日外客数 (暫定値) …… 17
 Visitor Arrivals by Nationality & Purpose of Visit for Jan.-Apr. 2008 (provisional figures)

2008 年 年齢層 / 性別 出国日本人数 …………… 18
 Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2008

2003 年～2007 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 19
 Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2003 – 2007

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ
 TEL：03-3216-1905

平成20年 訪日外客数・出国日本人数

2008 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部
Corporate Planning Department, Japan National Tourist Organization
Tel: 03-3216-1905

平成20年7月28日
28/Jul/2008

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成19年 2007	平成20年 2008	伸率 Change %	平成19年 2007	平成20年 2008	伸率 Change %
1 Jan.	617,885 (401,624)	711,350 (491,401)	15.1 (22.4)	1,407,790	1,353,928	-3.8
2 Feb.	631,278 (468,163)	696,326 (519,469)	10.3 (11.0)	1,377,670	1,372,626	-0.4
3 Mar.	684,654 (452,074)	731,619 (503,308)	6.9 (11.3)	1,575,478	1,455,505	-7.6
4 Apr.	714,014 (517,652)	779,909 (576,014)	9.2 (11.3)	1,289,713	1,183,191	-8.3
5 May	664,489 (462,407)	*736,300	*10.8	1,305,574	*1,291,000	*-1.1
6 June	631,874 (456,056)	*681,900	*7.9	1,381,922	*1,283,000	*-7.2
7 July	807,737 (621,877)			1,413,231		
8 Aug.	757,473 (566,071)			1,687,050		
9 Sept.	689,183 (459,813)			1,550,601		
10 Oct.	785,207 (550,587)			1,484,102		
11 Nov.	686,747 (476,640)			1,451,116		
12 Dec.	676,428 (521,216)			1,370,688		
1~6 Jan.-June	3,944,194 (2,757,976)	*4,337,400	*10.0	8,338,147	*7,939,000	*-4.8
1~12 Jan.-Dec.	8,346,969 (5,954,180)			17,294,935		

注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

注2: 平成20年1~4月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

注4: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことであり、駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

Note 2. The figures for Jan. - Apr. 2008 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2008年6月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for June 2008 (Preliminary figures by JNTO)

		総数 Total			総数 Total		
		2007年 6月	2008年 6月	伸率 (%)	2007年 1月～6月	2008年 1月～6月	伸率 (%)
総数	Grand Total	631,874	681,900	7.9	3,944,194	4,337,400	10.0
韓国	South Korea	190,330	195,700	2.8	1,223,679	1,322,400	8.1
台湾	Taiwan	115,364	130,300	12.9	676,017	722,700	6.9
中国	China	61,800	61,500	-0.5	434,452	499,200	14.9
香港	Hong Kong	34,394	52,000	51.2	195,279	267,000	36.7
タイ	Thailand	8,772	9,900	12.9	85,155	111,200	30.6
シンガポール	Singapore	13,843	16,600	19.9	62,021	78,300	26.2
豪州	Australia	17,483	18,000	3.0	105,453	125,900	19.4
米国	U.S.A.	77,898	76,700	-1.5	403,220	401,300	-0.5
カナダ	Canada	10,151	11,900	17.2	79,041	86,500	9.4
英国	United Kingdom	14,158	14,200	0.3	106,445	103,600	-2.7
ドイツ	Germany	7,957	9,100	14.4	57,807	62,400	7.9
フランス	France	9,304	10,300	10.7	65,189	71,600	9.8
その他	Others	70,420	75,700	7.5	450,436	485,300	7.7

注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

注2：上記の2007年の数値は確定値、2008年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

Note 2. Above figures for 2008 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

2008 年上半期は前年同期比 10.0%増の 433 万 7 千人
～ 上半期としては年別で過去最高を記録 ～

2008 年 6 月： 681,900 人（前年同月比 7.9%増、50,000 人増）

2008 年 1～6 月： 4,337,400 人（前年同期比 10.0%増、393,200 人増）

【要因】 VJC の宣伝効果、訪日旅行取り扱い旅行会社の増加、航空便の拡充、クルーズ需要などにより、訪日客が大幅増

訪日外客数は、上半期に初めて 400 万人台を記録した。また、月別でも、全ての月で過去最高を記録した。上半期の国籍別では、韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、豪州、カナダ、ドイツ、フランスからの訪日客が過去最高を記録した。

本年上半期に影響を与えた主なプラス要因は、以下のとおりである。

- ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の広告宣伝の効果
- 観光交流年のキャンペーン（韓国、フランス）
- 日本関連イベントの開催（タイ）
- 訪日旅行を取り扱う旅行会社の増加（タイ、シンガポール、ドイツ）
- 旅行博を通じた訪日旅行商品の予約増（タイ、シンガポール）
- 立山黒部アルペンルートの人気上昇（台湾）
- 教育旅行・インセンティブ旅行の催行（中国）
- スキー旅行の人気上昇（シンガポール、豪州、米国）
- 旅行ガイドブック発行の効果（フランス）
- 航空便の拡充（韓国、台湾、中国、香港、タイ、米国、カナダ）
- チャーター便の運航（韓国、台湾、香港）
- 格安航空料金の流通（カナダ、ドイツ）
- フェリー便の拡充（韓国）
- クルーズ需要（台湾、中国、米国、ドイツ）
- 円安外貨高（豪州、カナダ、ドイツ、フランス）
- 連休の日数増による旅行需要の増加（韓国、香港、タイ）
- 本年はうるう年で、例年 2 月よりも 1 日多いことによる訪日外客数の上乘せ
- 「第 4 回アフリカ開発会議（TICAD ）」の開催（5 月 28 日～30 日に横浜で開催 / アフリカ 51 か国、アジア諸国などから、2 千人以上の政府関係者が日本を訪問）

一方、本年上半期に影響を与えた主なマイナス要因は、以下のとおりである。

- 定期船の運休（台湾）
- 本年の旧正月休暇の日数減（台湾）
- 台湾総統選挙による外国旅行の手控え（台湾）
- 四川大地震、及び華南の豪雨・洪水の影響（中国）
- 休暇制度の改定によるメーデー休暇の日数短縮（中国）
- 日本経由客の減少（豪州、英国）
- 景気の低迷（米国、英国）
- 燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）の増額
- 円高外貨安（韓国、米国、英国）

6 月には、秋葉原通り魔事件（6 月 8 日）、岩手・宮城内陸地震（6 月 14 日）が発生したが、訪日旅行には影響を及ぼさなかった。

【出国日本人数】

2008 年上半期は前年同期比 4.8%減の 793 万 9 千人 ～ 月別で 14 か月連続の減少 ～

2008 年 6 月： 1,283,000 人（前年同月比 7.2%減、99,000 人減）

2008 年 1～6 月： 7,939,000 人（前年同期比 4.8%減、399,000 人減）

[要因] 消費マインドの冷え込み、燃油サーチャージの増額、一部通貨に対する円安基調、若年層の出国伸び悩み、訪中旅行の手控えなどが、海外旅行にマイナスに作用

上半期の出国日本人数は、4 年ぶりに 800 万人を下回り、2001 年(8,672,569 人)、2006 年(8,410,431 人)、2007 年(8,338,147 人)、2000 年(8,313,363 人)、2005 年(8,308,232 人)、1997 年(8,102,239 人)に次ぐ 7 位にとどまった。

本年上半期に海外旅行全般に影響を与えたと思われる主な阻害要因は、以下のとおりである。

- ガソリン、食料品といった物価の上昇、株価の値下がりなどによる消費マインドの冷え込み
- 燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）の増額
- ユーロ、豪ドル、カナダドルなどに対し円安基調で推移したことによる、海外旅行の割高感
- 若年層の出国の伸び悩み（年齢層では、男性は 20 代、30 代、50 代前半、女性は 20 代、30 代前半、50 代が実数で大きく減少している模様）

本年上半期に当該国への旅行に影響を与えたと思われる主な阻害要因は、以下のとおりである。特に、海外旅行を牽引し、日本人にとって最大の人気旅行地である中国への旅行が大きく落ち込んだ。

- パキスタン元首相暗殺とそれに伴う社会不安（2007 年 12 月 27 日以降）
- ケニアの暴動（2007 年 12 月 29 日～2008 年 1 月）
- 中国中南部の寒波（2008 年 1 月～2 月）
- 中国製ギョーザ中毒事件及び未解決状態の継続（2008 年 1 月～）
- チベット騒乱（2008 年 3 月中旬）及びチベット問題に対する世界的な注目
- ミャンマーのサイクロン被害（5 月 2 日～）
- イエメンでの邦人誘拐事件（5 月 7 日～8 日）
- 四川大地震（5 月 12 日）の被害
- インド・ジャイプルでの連続爆弾テロ事件（5 月 13 日）
- 南アフリカ共和国での外国人排斥暴動（5 月 11 日以降発生）
- 中国南部の豪雨・洪水（6 月～7 月）

【市場別 訪日外客数（推計値）】

韓国

昨年に比べて伸率が鈍化したものの、VJCによる広告、日韓観光交流のキャンペーンなどにより、上半期の訪日客は過去最高を記録

6月： 195,700人（前年同月比2.8%増、5,400人増）

1～6月： 1,322,400人（前年同期比8.1%増、98,700人増）

[要因]

上半期の訪日客は、3月を除き、毎月過去最高を記録した。ノービザによる気軽さ、週休2日制の浸透も手伝って、観光地見物、温泉、ショッピング、グルメ、ゴルフ、スキーなどを目的とする観光客が増加した。但し、3月は、韓国ウォンが主要通貨に対して軒並み安くなったため外国旅行が手控えられ、出国者数が減少し、訪日旅行もその影響を受けた。2005年5月以来、前年同月比で34か月ぶりの減少で、3月としては1998年以来、10年ぶりの減少となった。

JNTOではビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、韓国の歌手ユンナ（VJC観光親善大使）を起用しつつ、韓国で各種の広告を行った。訪日旅行意欲の誘発に効果があったと考えられる。

注： ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）による広告
映画館での上映前広告（2007年11月中旬～2008年1月中旬）
地下鉄動画モニター広告（2007年11月中旬～2008年1月中旬）
JNTOウェブサイト広告（2007年11月中旬～2008年2月末）
ケーブルテレビ広告（2008年6月中旬～7月末）
映画館での上映前広告（2008年6月下旬～7月末）
JNTOウェブサイト広告（2008年6月初旬～8月末）、その他多数

JNTOでは本年の「日韓観光交流年」に焦点を当てたキャンペーンを展開するため、専用ウェブサイト进行を設け日本観光情報を発信している。3月には同ウェブサイト进行を広報するための新聞广告进行了。これら一連の宣传が、訪日旅行への関心を高める上でプラスに作用した。

注： 日韓観光交流年のキャンペーン専用ウェブサイト（<http://welcometojapan.or.kr/message/index.asp>）
韓国の歌手ユンナ（VJC観光親善大使）を前面に出して、2008年3月27日から12月31日まで発信中。クイズに応募すると、抽選で景品が当たるコーナーも設けている。

1月と2月には、韓国から日本各地へチャーター便が多数運航された。また、4月と5月には、日韓間で航空便が増便された。

注： 日韓間のチャーター便運航（1～2月）
1月から2月にかけて、アジアナ航空が新千歳 ソウル（仁川）間で、大韓航空が福岡 ソウル（仁川）、鹿児島 ソウル（仁川）、那覇 ソウル（仁川）間でチャーター便を運航した。また、1月のみ、アジアナ航空が福岡 務安間でもチャーター便を運航した。

注： 日韓間の航空便の増便（4月～5月）
富山 ソウル（仁川） 4月19日、週3便から週5便に増便（アジアナ航空）
福島 ソウル（仁川） 5月22日、週3便から週5便に増便（アジアナ航空）

日韓間を結ぶ定期フェリーが6月に2路線で就航した。また、韓国（釜山）を起点とするクルーズ船が5月末に運航を開始した。

注： 日韓間の定期フェリー就航（6月）
金沢 釜山 「東日本フェリー」が6月16日から、週1往復で運航開始
北九州（門司） 釜山 韓国の「C&CRUISE」が6月21日から、週6往復で運航開始（6月5日から試験運航開始）

注： クルーズ船の運航開始（5月～）

韓国の「パンスターライン・ドットコム社」が5月30日から、釜山を出航し、広島と松山を巡るクルーズ船の運航を開始した。毎月2～3回運航される予定である。また、同社は6月に、釜山を出航し、福岡と長崎を巡る単発のクルーズ船も運航した。

本年の旧正月休暇や5月（2回）と6月（1回）の祝日は、週末との組み合わせが良かったことから、日本を始めとする近距離の外国旅行需要が昨年以上に促進された。

注： 本年上半期に組み合わせが良かった韓国の祝日

旧正月休暇 2月6日～10日（5連休）…… 昨年は2月17日～19日（3連休）、陰暦で設定

子供の日 5月5日（月曜）…… 昨年は5月5日（土曜）

5月1日（木曜）はメーデーとして休む企業が多く、5月2日（金曜）に年休を取得して5連休とする状況も見られた。

釈迦誕生日 5月12日（月曜）…… 昨年は5月24日（木曜）、陰暦で設定

顕忠日（戦没者追悼日） 6月6日（金曜）…… 昨年は6月6日（水曜）

<2008年6月の平均為替レート>（出典：三井住友銀行）

100円=962.68韓国ウォン（前年同月より207.67韓国ウォン安）

台湾

桜観賞ツアー等の宣伝効果、チャーター便の運航、立山人気、クルーズ船の復活などにより、上半期の訪日客が過去最高を記録

6月： 130,300人（前年同月比12.9%増、14,900人増）

1～6月： 722,700人（前年同期比6.9%増、46,700人増）

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、4月から6月まで毎月過去最高を記録した。

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、2月から3月にかけて桜観賞ツアーに関する新聞広告を展開した。その宣伝効果もあり、桜観賞ツアーの販売が昨年以上に好調であった。また、東京ディズニーランドが開業25周年を記念して、6月に台湾でテレビ広告を流したことなども、訪日旅行意欲の誘発に効果があったと考えられる。

台湾から日本各地（東北、北陸、中国・四国、九州、沖縄など）へのチャーター便が多数運航された。座席供給量にゆとりができたことにより、訪日ツアー料金が昨年に比べて値下がりした。1月には一部の旅行会社で、家族旅行者を対象に、大人2人につき子供1人分の訪日ツアー料金を半額にするなどして販促する動きが見られた。

注： 台湾から日本各地へのチャーター便の運航

1月、4月、5月を中心に、台北から秋田、富山、能登、米子・岡山・高松、鹿児島、石垣島へ、高雄から能登へ、多数運航された。中華航空、復興航空（TransAsia Airways）、マンダリン航空（華信航空）、立栄航空（UNI Air）、遠東航空が運航した。

6月に日台間の航空便が拡充され、訪日客増にプラスに作用した。

注： 日台間の航空便の就航（6月）

小松 台北 6月1日、定期便として週2便で新規就航（エバー航空）

宮崎 台北 6月1日、定期便として週2便で新規就航（エバー航空）

台湾では立山黒部アルペンルートの人気が急速に高まっている。チャーター便の運航にも後押しされ、本年4月17日の開業から6月までの間に、台湾人訪問者が、前年同期より約1万3千人純増した。

昨年は7月から11月まで運航していた台湾（基隆）と石垣島、那覇等を結ぶクルーズ船「スーパースター・リブラ」が、本年は4月から運航を再開し、6月までの3か月間で約2万2千人が日本を訪れた。

一方、台湾（基隆、高雄）と石垣島、宮古島、那覇を結ぶ有村産業の定期船が、6月5日をもって運航を休止した。

昨年春節（旧正月）休暇が、昨年の9連休（2月17日～25日）から本年は6連休（2月6日～11日）になったため、旅行需要が減少した。また、旧正月休暇期間の訪日ツアー料金が高めに設定され、消費者から敬遠された。

3月22日に台湾総統選挙が行われたが、2月後半から総統選挙直後まで、外国旅行を手控える傾向が見られ、台湾からの出国者数が減少した。期日前投票や在外投票ができないこともあり、選挙当日は台湾にとどまる人が多かった。

6月10日以降、尖閣諸島をめぐる日台関係が一時的に悪化した。訪日旅行には影響を及ぼさなかった。

中国

桜観賞ツアー等の宣伝効果、航空便の拡充、クルーズ船の寄港などにより、上半期の訪日客が過去最高、但し、四川大地震の影響で増加幅は縮小

6月： 61,500人（前年同月比0.5%減、300人減）

1～6月： 499,200人（前年同期比14.9%増、64,700人増）

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、6月以外の月で過去最高を記録した。

JNTOが3月に、ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として、ハルビン、西安、武漢、広州などで桜観賞ツアーの新聞広告を展開した。更に広州では地下鉄駅を活用した広告も行った結果、桜観賞ツアーの販売が昨年を上回る実績を上げた。

訪日旅行の需要拡大に合わせて、日中間の航空便が拡充された。

注： 航空便の拡充

仙台 北京 3月30日、週4便から週5便に増便（中国国際航空）
成田 杭州 3月30日、週5便から週7便に増便（日本航空）
富山 大連 3月30日、週3便から週4便に増便（中国南方航空）
小松 上海 3月30日、週3便から週4便に増便（中国東方航空）
中部 青島 北京 3月30日、週6便から週7便に増便（中国東方航空）
関西 大連 3月30日、週3便から週5便に増便（中国南方航空）
関西 青島 3月30日、週3便から週4便に増便（日本航空）
関西 青島 3月30日、週3便から週7便に増便（全日空）
関西 大連 成都 3月31日、週3便で新規就航（中国国際航空）
岡山 大連 北京 5月1日、週2便から週3便に増便（中国東方航空）

クルーズ船「ラブソディー・オブ・ザ・シーズ」が2月10日に那覇に寄港したが、乗客のうちの約1千人が中国人観光客であった。また、4月には日本に6便寄港し、1万2千人の中国人観光客が訪れた。この中には、中国（大陸）にある台湾系化粧品会社の中国人インセンティブ旅行者も約2千人含まれていた。

注： クルーズ船「ラブソディー・オブ・ザ・シーズ」

米国のクルーズ会社「ロイヤルカリビアン」が運航するクルーズ船。4月には以下のルートで運航された。

6日間コース(4便運航): 上海 福岡 釜山 濟州島 上海

8日間コース(2便運航): 上海 神戸(京都も訪問) 福岡 釜山 濟州島 上海

1月中旬に、ドイツの製薬会社中国現地法人のインセンティブツアーで、約1,400人が訪日した。

学校の冬休み期間(1月~2月)に、北京・天津地域で訪日教育旅行が催行され、約1,500人が訪日した。

3月3日に、訪日観光旅行を目的とする2人以上の中国人家族を対象に、家族観光査証の発給が開始された。

注: 中国人への家族観光査証の発給

従来、4人以上の中国人団体旅行者に対して訪日観光査証が発給されてきたが、3月3日に、2人以上の中国人家族を対象に、査証申請の受け付けが開始され、3月16日に同査証を取得した家族が初来日した。なお、同査証を取得した場合、中国側及び日本側双方からの添乗員の同行が必要とされる。

5月12日の四川大地震の影響により、被災地である四川省からの訪日ツアーの催行が取り消されたり、日中間の航空便の一部に欠航が生じた。また、中国の国務院(内閣)では公務員と国営企業幹部に対して、公用旅券を使った外国旅行の延期を通告、一般消費者の間でも外国への渡航自粛ムードが広がった。更に、民間企業ではインセンティブ旅行の予算を義援金に振り向けるなどしたことから、日本を含む外国旅行需要の増加幅が押し下げられた。

6月に中国南部で豪雨が続き、大規模な洪水が発生したことにより、被災地からの外国旅行が手控えられる傾向が見られた。

中国の休暇制度の改定により、本年から清明節(本年は4月4日)が祝日となったが、この日は先祖の墓参りをするのが習慣となっているため、訪日旅行の需要増には大きな影響を及ぼさなかった。また、昨年は1週間の休暇であった労働節(メーデー)休暇(5月1日~7日)が、本年は3日間(5月1日~3日)に短縮されたため、外国旅行の需要が昨年比べて減少した。

6月17日に中国人の米国への団体観光旅行が解禁され、第一陣として約240人が訪米した。その後、訪日旅行の需要の一部が訪米旅行に流れた可能性がある。

香港

VJC 観光親善大使を起用した広告、航空便の拡充、連休による外国旅行の需要増などを背景に、上半期の訪日客が3割以上増加

6月: 52,000人(前年同月比51.2%増、17,600人増)

1~6月: 267,000人(前年同期比36.7%増、71,700人増)

[要因]

訪日客は、好調な景気などを背景に、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、1月と4月を除く月で過去最高を記録した。

JNTOではビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)の一環として、香港のタレント、フィオナ・シツ(VJC観光親善大使=当時)を起用しつつ、新聞・雑誌での冬季訪日旅行ツアー広告(2007年11月、12月)、JNTO中国語繁体字ウェブサイトでの訪日旅行プレゼントキャンペーン(2007年12月中旬~2008年1月末)、新聞・雑誌への広告(2008年2月末~3月中旬)、検索サイトへのバナー広告(2008年3月中旬)などを行った。訪日旅行意欲の誘発に効果があったと考えられる。

香港から日本各地へのチャーター便が多数運航され、訪日客の増加を底上げした。また、2月には、一部のチャーター便を利用した訪日ツアー料金が安くなり、訪日客の増加を掘り起こした。

注： チャーター便の運航

- 1月： 香港航空と香港エクスプレス（香港快運航空）が仙台（4便）、福島（11便）、岡山（1便）、広島（1便）、北九州（4便）、鹿児島（3便）、那覇（13便）へ運航した。
- 2月： 日本航空が新千歳（8便）、成田（5便）、羽田（4便）へ、全日空が関西（2便）へ、香港航空と香港エクスプレス（香港快運航空）が福島（14便）、広島（2便）、北九州（4便）、鹿児島（8便）、那覇（8便）へ、キャセイパシフィック航空と香港ドラゴン航空が新千歳（21便）、仙台（3便）、成田（5便）、関西（13便）へ運航した。
- 3月： 香港エクスプレス（香港快運航空）が福島、岡山、北九州、鹿児島、那覇へ運航した。

訪日旅行の需要拡大に合わせて、香港から日本各地への定期便、定期チャーター便の就航が、4月以降に6路線あった。

注： 香港から日本各地への航空便就航（4月～5月）

- 羽田 香港 4月1日、定期チャーター便として週7便で新規就航（全日空）
- 那覇 香港 4月3日、定期便として週2便で新規就航、4月28日、週4便に増便（香港エクスプレス）
- 岡山 香港 4月26日、定期便として週3便で新規就航（香港エクスプレス）
- 鹿児島 香港 4月28日、定期便として週3便で新規就航（香港エクスプレス）
- 広島 香港 5月1日、定期便として週2便で新規就航（香港エクスプレス）
- 中部 香港 5月15日、定期便として週6便で新規就航（香港エクスプレス）

本年5月の祝日は、週末との組み合わせが良く3連休となったため、日本を始めとする近距離の外国旅行需要が昨年以上に促進された。

注： 本年5月の香港の祝日

釈迦誕生日 5月12日（月曜）…… 昨年は5月24日（木曜）、陰暦で設定

タイ

メディアの日本紹介、日本各地への新規ツアーの催行、日本関連の各種イベントなどにより「日本ブーム」が広がり、上半期の訪日客が3割増

6月： 9,900人（前年同月比12.9%増、1,100人増）

1～6月： 111,200人（前年同期比30.6%増、26,000人増）

[要因]

上半期の訪日客は、前年同月比で毎月二桁増となるなど、全ての月で過去最高を記録した。

JNTOがビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の一環として取材協力した日本観光紹介テレビ番組が数多く放映され、「日本ブーム」と呼べるような状況が生まれ、訪日旅行意欲が誘発されたと考えられる。

また、主要一般紙での広告掲載（2月～3月）、雑誌での九州特集記事の掲載（6月）、旅行ガイドブックの発行（昨年3月、9月）なども、近年の「日本ブーム」を一層盛り上げた。

注： タイで放映された訪日旅行に関するテレビ番組

Pin Toh Tao Lek： 王族の著名グルメ評論家が進行する人気グルメ番組。日本特集は、3月8日から毎週土曜日に、4週間にわたり放映された。

Say Hi!： 女優のティックさん（VJC観光親善大使）がレポーターを務める訪日観光紹介テレビ番組。2006年1月から、隔週土曜日に放映されている。

Discover Japan： 2007年11月からTITVチャンネルで12回放映された訪日旅行紹介テレビ番組。放映局がチャンネル9に変わり、2008年4月20日以降、毎週日曜日に新たに放映されている。

タイからの訪日旅行の多様化を図り、沖縄、九州、四国、中国など、日本の新規旅行地へのツアー販売を促進するため、JNTO が主要旅行会社と共同で宣伝活動を行った。その結果、訪日需要の裾野が広がってきている。

日本への懸賞旅行が当たる各業界の広告キャンペーンの実施、日本物産展などの日本関連イベントの開催、外国銀行系の主要クレジットカード会社による顧客向け割引訪日ツアーの販売なども、訪日旅行の需要喚起につながった。

注： タイで実施された日本への懸賞旅行キャンペーン（4月～6月）
食料・飲料販売とレストラン事業を展開する「OISHI」、スナック菓子販売の「HANAMI」「カルビー」、フィットネスセンターの「カリフォルニア WOW」などによって実施された。

TTAA 旅行フェア（2008年2月28日～3月2日）の会場で、訪日旅行商品の販売を行ったところ、予約が急増し、訪日客の伸びを押し上げた。

5月の祝日の際には、週末との組み合わせが良かったことから、日本を始めとする近距離の外国旅行需要が昨年以上に促進された。

注： 本年5月のタイの祝日
メーデー 5月1日（木曜）…… 民間企業限定の祝日
国王即位記念日 5月5日（月曜）
なお、5月2日（金曜）に年休を取得して5連休とする状況が数多く見られた。

タイ国際航空の増便、ノースウエスト航空やシンガポール航空による割安航空運賃の提示もプラス要因となった。

注： 日タイ間の航空便の増便
中部 バンコク 5月18日、週5便から週8便に増便（タイ国際航空）

シンガポール

訪日ツアー需要の裾野の広がりに対応して、新規ツアーを取り扱う旅行会社が増加したことなどにより、上半期の訪日客が2割以上増加

6月： 16,600人（前年同月比19.9%増、2,800人増）

1～6月： 78,300人（前年同期比26.2%増、16,300人増）

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、1月を除き、毎月過去最高を記録した。

2月にJNTOがシンガポールで行った、新聞、バス停看板などを使った訪日旅行の広告が、訪日旅行意欲の誘発に効果があったと考えられる。

新規訪日ツアーを主催するシンガポールの旅行会社が増えており、訪日需要の裾野が広がっている。中高年が参加する日本への団体ツアーや、インセンティブ旅行、教育旅行などは著しい増加を示している。

NATAS 旅行フェア（2008年2月29日～3月2日）の会場で、訪日旅行商品の割引販売を行ったところ、予約が急増し、訪日客の伸びを押し上げた。

個人旅行者による訪日スキー旅行の需要が増加したことも、訪日客増にプラスに作用した。

豪州

経済の好況、継続的な VJC 宣伝活動、訪日スキー需要の拡大などを背景として、上半期の訪日客が 2 割増

6 月： 18,000 人（前年同月比 3.0% 増、500 人増）
1～6 月： 125,900 人（前年同期比 19.4% 増、20,400 人増）

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、6 月を除き、毎月過去最高を記録した。

資源国である豪州では、好調な経済と強い豪ドルを背景に外国旅行熱が高まり、訪日旅行にとっても追い風となった。

JNTO ではビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) 事業の一環として、テレビ、一般紙などの媒体を使い、豪州で昨年後半から継続して宣伝活動を行った。これにより、訪日旅行意欲が誘発されたと考えられる。

注： 豪州で実施した VJC の事例

2008 年 4 月に、サンデー・テレグラフ (シドニー)、サンデー・メール (ブリスベン)、サンデー・ヘラルド・サン (メルボルン) などの有力一般紙・日曜旅行版の表紙を日本が飾り、日本特集記事が組まれた。この他、昨年度以来、新聞、雑誌を通じた広告・記事の掲載や、テレビ番組の放映が多数実施された。

豪州からニセコ、富良野、白馬、志賀高原などへの訪日スキー旅行の需要が拡大した。

一方、豪州からヨーロッパ方面へ向かう旅行者の需要が、日本経由便の座席数の減少や料金の高さゆえ、中東や香港、マレーシアなど他の経由地に流れたこと、及び燃油特別付加運賃 (燃油サーチャージ) の値上がりがマイナス要因となった。

米国

閑散期の訪日旅行 PR が奏功し、観光客は前年水準を保ったものの、米国の景気低迷、燃油サーチャージの値上げ、円高がマイナスに作用

6 月： 76,700 人（前年同月比 1.5% 減、1,200 人減）
1～6 月： 401,300 人（前年同期比 0.5% 減、1,900 人減）

[要因]

米国からの訪日客は、1 月～3 月期は前年同期比 4.6% 増加したが、4 月以降減少に転じた。

閑散期の訪日旅行の需要を喚起するため、JNTO ではビジット・ジャパン・キャンペーン (VJC) の一環として、日系旅行会社や地方自治体と連携してキャンペーンを展開した。この対策が奏功し、観光客に限っては、上半期には大幅に落ち込まなかったと思われる。

注： 閑散期の訪日個人旅行の需要喚起対策

JNTO では、閑散期の訪日旅行の需要を高める一環として、2007 年 9 月から 2008 年 3 月まで、個人旅行ツアーを含む割安な日本旅行商品を宣伝する「アフォーダブル・キャンペーン」を、新聞、雑誌、ラジオ、ケーブルテレビを通じて実施した。また、2007 年 12 月から 2008 年 3 月まで、冬季を中心とした京都への旅行者を誘致することを

目的に、観光魅力やお得な旅行情報を提供するキャンペーン「京都ウィンタースペシャル2008」を実施した。大手検索サイトや有力旅行雑誌などで紹介され、人気を博した。

本年2月には、前年同月になかったクルーズ船の入港が複数あり、千人単位の米国人観光客が訪日した。また、本年3月にも、前年同月を数千人上回る訪日クルーズ需要があった。

注： 日本に寄港したクルーズ船（2月の事例）

「エムエス・ドイチュラント」： ドイツ船籍、2月2日に那覇へ寄港

「ラブソディー・オブ・ザ・シーズ」： 米国船籍、2月10日に那覇へ寄港

「セブンシーズ・ポイジャー」： 米国船籍、2月24日に大阪へ寄港

「シルバー・シャドー」： 米国船籍、2月26日に那覇へ寄港

エバー航空の関西 ロサンゼルス便就航、日本航空の成田 ニューヨーク便の増便はプラス要因となった。

注： 日米航空路線の拡充

関西 ロサンゼルス（台北発関西経由） 3月30日、週3便で新規就航（エバー航空）

成田 ニューヨーク 3月30日、週13便から週14便に増便（日本航空）

東京マラソンの開催（2月17日）、訪日スキーツアーの催行により、それぞれ数百人単位の訪日需要が生じた。

3月には、台湾総統選挙に合わせた台湾系米国人の里帰り客が、日本経由で増加した。

米国のプロ野球リーグであるメジャーリーグの日本開幕戦が、3月22日から3月26日まで東京で行われ、チーム関係者、マスコミや、数百人規模の観戦客がチャーター便などで来日した。

注： 米国のメジャーリーグの日本開幕戦

今回の日本開幕戦は、ボストン・レッドソックスとオークランド・アスレチックスの2チームが来日し、3月22日、23日にオープン戦、25日、26日に公式戦を行った。

本年上半期に、米国の景気は、サブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題や原油価格の上昇などの影響を受けて後退した。商用客の外国出張が手控えられ、消費者心理も冷え込むなど、外国旅行への影響が顕在化し、訪日旅行にも影響を与えた。

燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）が4月以降切り上げられ、高止まりを続けていた航空運賃が上昇したことは、訪日旅行の阻害要因となった。この影響もあり、4月から3か月間、訪日客は前年同月比で減少した。

円高米ドル安が進行した結果、4月以降の訪日旅行商品の仕入れ・販売価格が一般的に高めに改定され、訪日旅行にとってマイナスに作用した。

< 2008年6月の平均為替レート >（出典：三井住友銀行）

1米ドル = 106.93円（前年同月より15.73円高）

カナダ

訪日低価格ツアーや日本経由ツアーの開発と、それらの販売支援広告事業などにより、上半期の訪日客が過去最高を記録

6月： 11,900人（前年同月比17.2%増、1,700人増）

1～6月： 86,500人（前年同期比9.4%増、7,500人増）

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、1月と4月を除く月で過去最高を記録した。

JNTOがビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）事業の一環として、昨年秋から本年3月までカナダで行った、訪日低価格ツアーや日本経由ツアーの開発と、それらの販売支援広告事業、4月に有力一般紙上で行った記事掲載などが奏功し、訪日ツアーの送客数が増加した。

エア・カナダは、日加間の航空便を一旦減便したものの、後に航空座席供給量、便数ともに拡充させた。また、4月以降、日本（成田、関西）との間の往復航空券を、燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）を含めて900カナダドル前後（約95,000円）の格安料金で販売したことから、訪日旅行にとってプラスに作用した。

注： 日加間の航空座席供給量の増減（1月～3月）

成田 トロント 1月以降、週5便から週3便に減便（エア・カナダ）

成田 トロント 航空機材の変更により、2月以降、航空座席が1か月当たり約1,000席増加（エア・カナダ）

成田 トロント 3月以降、週3便から週7便に増便（エア・カナダ）、航空座席は前年と比べて1か月当たり約4,900席増加

米国経済の減速の影響を受けて、3月以降、カナダ経済にやや陰りが見え始めたものの、円に対しては依然、カナダドル高を維持し、訪日客の増加を後押しした。

英国

日本経由客の需要減、英ポンド安などが影響し、上半期の訪日客が減少

6月： 14,200人（前年同月比0.3%増、50人増）

1～6月： 103,600人（前年同期比2.7%減、2,800人減）

[要因]

英国からの訪日客は、2月と3月では前年同月比で増加したものの、上半期全体としては前年同期比で2.7%減少した。

英国からオセアニア方面へ向かう旅行者の需要が、日本経由便の座席数の減少や料金の高さゆえ、中東や香港、マレーシアなど他の経由地に流れたと推測される。

英ポンドの円に対する上半期の為替相場は、円高英ポンド安基調で推移した。昨年と比べて1～2割英ポンド安となっていることもあり、英国人にとっては訪日旅行に割高感が働いた。

サブプライムローン問題の影響を受け、英国では景気が後退しつつあり、訪日ビジネス需要が減少傾向にあると推測される。

<2008年6月の平均為替レート> (出典：三井住友銀行)

1英ポンド=210.25円(前年同月より33.37円高)

ドイツ

VJCによる広報効果、訪日旅行を取り扱う旅行会社増などを背景に、上半期の訪日客が過去最高を記録

6月： 9,100人(前年同月比14.4%増、1,100人増)

1~6月： 62,400人(前年同期比7.9%増、4,600人増)

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別では、6月を除き、毎月過去最高を記録した。6月の過去最高は、2002年6月、日本でFIFAワールドカップが開催された時のことである。

JNTOではビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)の一環として、ドイツでドイツ語の検索サイト「Wissen.de」に、訪日旅行の特集ページ(3月~4月)を設定して広報を行った。これにより、訪日旅行意欲が誘発されたと考えられる。

近年、訪日旅行商品を取り扱う旅行会社が増加しており、訪日旅行需要の掘り起こしの助けとなっている。

ドイツでは、冬季に日独路線を対象とした割引航空運賃が流通し、訪日観光の需要喚起につながった。

注：日独間の冬季航空運賃の割引価格

ルフトハンザ航空が2007年11月16日から2008年2月15日まで、ドイツから日本各地への割引運賃を設定した。

ドイツのクルーズ船「エムエス・ドイチュラント」が2月2日に那覇に寄港し、300人以上のドイツ人観光客が沖縄本島を旅行した。

本年上半期の為替相場は、おおよそ円安ユーロ高基調を維持した。数年前と比べて1~2割のユーロ高であったため、訪日旅行に割安感が働いた。

<2008年6月の平均為替レート> (出典：三井住友銀行)

1ユーロ=166.36円(前年同月より1.81円安)

フランス

日仏観光交流年のキャンペーン効果、訪日旅行ガイドブックの発行などが影響し、上半期の訪日客が過去最高を記録

6月： 10,300人(前年同月比10.7%増、1,000人増)

1~6月： 71,600人(前年同期比9.8%増、6,400人増)

[要因]

訪日客は、上半期としては過去最高を記録した。また、月別でも、全ての月で過去最高を記録した。

本年は日仏観光交流年・修好友好 150 周年に当たるが、JNTO では 3 月から 5 月にかけて、フランスでこれに因んだキャンペーン（バス車体広告、ウェブサイトによる宣伝など）を行った。これに加え、その他一連の交流事業が訪日旅行への関心を高めた。

フランスでは、「ロンリー・プラネット」、「ミシュラン」、「ルタール東京・京都」などのフランス語版日本旅行ガイドブックが近年相次いで発行され、訪日旅行の魅力が幅広く周知されるようになった。また、2007 年 11 月には、レストランガイドブックである「ミシュランガイド東京」が発売され、東京が世界で最も多く星が付いたレストランのある都市として、世界中で話題を呼んだ。

本年上半期の為替相場は、おおよそ円安ユーロ高基調を維持した。数年前と比べて 1~2 割のユーロ高であったため、訪日旅行に割安感が働いた。

2008年4月 国籍別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)
 Visitor Arrivals by Nationality & Purpose of Visit for Apr. 2008 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourist Organization

		総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2007年 4月 Apr.	2008年 4月 Apr.	伸率 % Change	2007年 4月 Apr.	2008年 4月 Apr.	伸率 % Change	2007年 4月 Apr.	2008年 4月 Apr.	伸率 % Change	2007年 4月 Apr.	2008年 4月 Apr.	伸率 % Change
総数	Grand Total	714,014	779,909	9.2	517,652	576,014	11.3	127,778	131,788	3.1	68,584	72,107	5.1
アジア	Asia Total	514,167	580,161	12.8	385,690	445,989	15.6	75,235	77,110	2.5	53,242	57,062	7.2
韓国	South Korea	190,558	203,812	7.0	147,240	159,049	8.0	32,587	32,769	0.6	10,731	11,994	11.8
台湾	Taiwan	124,574	140,833	13.1	113,345	129,360	14.1	8,518	8,515	0.0	2,711	2,958	9.1
中国	China	79,778	103,013	29.1	34,810	54,451	56.4	17,346	18,027	3.9	27,622	30,535	10.5
香港	Hong Kong	38,039	36,400	-4.3	35,493	33,164	-6.6	2,188	2,752	25.8	358	484	35.2
フィリピン	Philippines	11,284	9,419	-16.5	7,212	6,106	-15.3	1,368	1,369	0.1	2,704	1,944	-28.1
タイ	Thailand	27,133	35,476	30.7	22,966	31,312	36.3	2,699	2,541	-5.9	1,468	1,623	10.6
シンガポール	Singapore	11,546	13,487	16.8	8,888	10,728	20.7	2,433	2,508	3.1	225	251	11.6
マレーシア	Malaysia	10,781	13,074	21.3	7,555	10,024	32.7	2,392	2,338	-2.3	834	712	-14.6
インドネシア	Indonesia	4,562	5,647	23.8	2,350	3,481	48.1	850	952	12.0	1,362	1,214	-10.9
インド	India	5,654	5,783	2.3	2,085	2,110	1.2	2,192	2,307	5.2	1,377	1,366	-0.8
イスラエル	Israel	1,181	1,740	47.3	755	1,324	75.4	363	371	2.2	63	45	-28.6
ベトナム	Vietnam	2,467	2,993	21.3	658	860	30.7	625	774	23.8	1,184	1,359	14.8
その他アジア	Asia Unclassified	6,610	8,484	28.4	2,333	4,020	72.3	1,674	1,887	12.7	2,603	2,577	-1.0
ヨーロッパ	Europe Total	81,318	85,049	4.6	51,855	52,800	1.8	23,378	26,204	12.1	6,085	6,045	-0.7
英国	United Kingdom	20,866	18,952	-9.2	13,654	11,880	-13.0	5,394	5,587	3.6	1,818	1,485	-18.3
ドイツ	Germany	10,749	11,533	7.3	5,443	5,021	-7.8	4,705	5,894	25.3	601	618	2.8
フランス	France	15,199	17,419	14.6	10,801	12,373	14.6	3,446	3,814	10.7	952	1,232	29.4
ロシア	Russia	5,489	5,912	7.7	3,389	3,872	14.3	1,603	1,449	-9.6	497	591	18.9
イタリア	Italy	4,736	5,285	11.6	3,078	3,472	12.8	1,399	1,539	10.0	259	274	5.8
オランダ	Netherlands	2,897	3,371	16.4	1,568	2,010	28.2	1,192	1,215	1.9	137	146	6.6
スペイン	Spain	2,436	2,621	7.6	1,828	1,894	3.6	449	591	31.6	159	136	-14.5
スイス	Switzerland	2,760	2,670	-3.3	2,003	1,876	-6.3	667	681	2.1	90	113	25.6
スウェーデン	Sweden	2,843	3,211	12.9	1,742	1,764	1.3	922	1,296	40.6	179	151	-15.6
ベルギー	Belgium	1,401	1,338	-4.5	823	706	-14.2	502	550	9.6	76	82	7.9
アイルランド	Ireland	1,211	1,032	-14.8	773	629	-18.6	316	319	0.9	122	84	-31.1
フィンランド	Finland	1,835	1,926	5.0	1,181	1,272	7.7	562	588	4.6	92	66	-28.3
デンマーク	Denmark	1,272	1,253	-1.5	736	647	-12.1	490	564	15.1	46	42	-8.7
オーストリア	Austria	1,204	1,207	0.2	688	605	-12.1	421	456	8.3	95	146	53.7
ポルトガル	Portugal	840	598	-28.8	725	454	-37.4	85	113	32.9	30	31	3.3
ノルウェー	Norway	759	926	22.0	467	458	-1.9	253	417	64.8	39	51	30.8
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	4,821	5,795	20.2	2,956	3,867	30.8	972	1,131	16.4	893	797	-10.8
アフリカ	Africa Total	1,628	1,974	21.3	541	700	29.4	583	627	7.5	504	647	28.4
北アメリカ	North America Total	92,386	86,202	-6.7	61,326	56,590	-7.7	24,619	23,540	-4.4	6,441	6,072	-5.7
米国	U.S.A.	74,772	69,186	-7.5	47,691	43,518	-8.8	21,891	20,930	-4.4	5,190	4,738	-8.7
カナダ	Canada	14,683	14,580	-0.7	11,395	11,344	-0.4	2,224	2,136	-4.0	1,064	1,100	3.4
メキシコ	Mexico	2,395	1,845	-23.0	2,018	1,452	-28.0	298	285	-4.4	79	108	36.7
その他北アメリカ	North America Unclassified	536	591	10.3	222	276	24.3	206	189	-8.3	108	126	16.7
南アメリカ	South America Total	3,230	3,660	13.3	2,053	2,260	10.1	639	770	20.5	538	630	17.1
ブラジル	Brazil	1,795	2,226	24.0	1,076	1,354	25.8	383	471	23.0	336	401	19.3
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,435	1,434	-0.1	977	906	-7.3	256	299	16.8	202	229	13.4
オセアニア	Oceania Total	21,184	22,745	7.4	16,113	17,578	9.1	3,310	3,524	6.5	1,761	1,643	-6.7
豪州	Australia	17,683	19,130	8.2	13,696	15,045	9.8	2,711	2,933	8.2	1,276	1,152	-9.7
ニュージーランド	New Zealand	3,217	3,322	3.3	2,255	2,383	5.7	557	556	-0.2	405	383	-5.4
その他オセアニア	Oceania Unclassified	284	293	3.2	162	150	-7.4	42	35	-16.7	80	108	35.0
無国籍・その他	Stateless	101	118	16.8	74	97	31.1	14	13	-7.1	13	8	-38.5

注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国人数である。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含ま

注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

2008年1月～4月 国籍別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)
 Visitor Arrivals by Nationality & Purpose of Visit for Jan.-Apr. 2008 (provisional figures)

作成：日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourist Organization

		総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2007年 1月～4月 Jan.-Apr.	2008年 1月～4月 Jan.-Apr.	伸率 % Change	2007年 1月～4月 Jan.-Apr.	2008年 1月～4月 Jan.-Apr.	伸率 % Change	2007年 1月～4月 Jan.-Apr.	2008年 1月～4月 Jan.-Apr.	伸率 % Change	2007年 1月～4月 Jan.-Apr.	2008年 1月～4月 Jan.-Apr.	伸率 % Change
総数	Grand Total	2,647,831	2,919,204	10.2	1,839,513	2,090,192	13.6	500,360	501,652	0.3	307,958	327,360	6.3
アジア	Asia Total	1,947,177	2,176,855	11.8	1,427,277	1,631,628	14.3	285,411	291,692	2.2	234,489	253,535	8.1
韓国	South Korea	821,994	897,745	9.2	645,469	719,332	11.4	124,891	122,876	-1.6	51,634	55,537	7.6
台湾	Taiwan	448,016	457,476	2.1	404,555	412,254	1.9	31,735	32,212	1.5	11,726	13,010	11.0
中国	China	302,440	363,035	20.0	117,623	161,858	37.6	60,927	65,978	8.3	123,890	135,199	9.1
香港	Hong Kong	133,386	175,925	31.9	123,035	163,330	32.8	8,901	10,912	22.6	1,450	1,683	16.1
フィリピン	Philippines	32,284	30,980	-4.0	16,817	16,303	-3.1	5,950	6,038	1.5	9,517	8,639	-9.2
タイ	Thailand	63,087	81,030	28.4	47,035	64,315	36.7	10,566	10,408	-1.5	5,486	6,307	15.0
シンガポール	Singapore	35,943	45,999	28.0	25,726	35,406	37.6	9,173	9,442	2.9	1,044	1,151	10.2
マレーシア	Malaysia	33,423	36,779	10.0	20,641	24,323	17.8	9,600	9,017	-6.1	3,182	3,439	8.1
インドネシア	Indonesia	15,595	17,319	11.1	7,292	8,972	23.0	3,334	3,473	4.2	4,969	4,874	-1.9
インド	India	21,335	23,142	8.5	6,416	7,190	12.1	8,753	9,280	6.0	6,166	6,672	8.2
イスラエル	Israel	3,987	4,738	18.8	1,843	2,751	49.3	1,753	1,742	-0.6	391	245	-37.3
ベトナム	Vietnam	10,179	11,827	16.2	2,484	2,783	12.0	2,473	2,582	4.4	5,222	6,462	23.7
その他アジア	Asia Unclassified	25,508	30,860	21.0	8,341	12,811	53.6	7,355	7,732	5.1	9,812	10,317	5.1
ヨーロッパ	Europe Total	278,257	293,282	5.4	150,484	164,768	9.5	98,591	98,626	0.0	29,182	29,888	2.4
英国	United Kingdom	75,862	73,400	-3.2	44,497	43,755	-1.7	23,021	21,980	-4.5	8,344	7,665	-8.1
ドイツ	Germany	39,820	42,582	6.9	16,407	17,708	7.9	20,166	21,324	5.7	3,247	3,550	9.3
フランス	France	44,054	48,359	9.8	24,535	28,097	14.5	14,525	14,800	1.9	4,994	5,462	9.4
ロシア	Russia	19,272	22,531	16.9	11,340	14,271	25.8	5,650	5,485	-2.9	2,282	2,775	21.6
イタリア	Italy	15,077	16,549	9.8	7,888	9,315	18.1	6,081	6,065	-0.3	1,108	1,169	5.5
オランダ	Netherlands	10,339	11,099	7.4	4,763	5,752	20.8	4,772	4,617	-3.2	804	730	-9.2
スペイン	Spain	7,963	9,581	20.3	4,957	6,673	34.6	2,226	2,186	-1.8	780	722	-7.4
スイス	Switzerland	7,766	8,066	3.9	4,638	5,072	9.4	2,713	2,530	-6.7	415	464	11.8
スウェーデン	Sweden	9,827	10,557	7.4	5,055	5,398	6.8	3,975	4,340	9.2	797	819	2.8
ベルギー	Belgium	4,570	5,233	14.5	1,917	2,481	29.4	2,237	2,348	5.0	416	404	-2.9
アイルランド	Ireland	4,585	4,353	-5.1	2,572	2,530	-1.6	1,349	1,236	-8.4	664	587	-11.6
フィンランド	Finland	6,547	7,109	8.6	3,914	4,652	18.9	2,132	2,070	-2.9	501	387	-22.8
デンマーク	Denmark	5,117	5,010	-2.1	2,928	2,728	-6.8	1,941	2,003	3.2	248	279	12.5
オーストリア	Austria	4,405	4,400	-0.1	2,091	2,163	3.4	1,786	1,643	-8.0	528	594	12.5
ポルトガル	Portugal	3,152	2,266	-28.1	2,629	1,771	-32.6	399	378	-5.3	124	117	-5.6
ノルウェー	Norway	3,822	4,045	5.8	2,141	2,438	13.9	1,451	1,388	-4.3	230	219	-4.8
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	16,079	18,142	12.8	8,212	9,964	21.3	4,167	4,233	1.6	3,700	3,945	6.6
アフリカ	Africa Total	7,028	7,132	1.5	1,828	2,045	11.9	2,658	2,436	-8.4	2,542	2,651	4.3
北アメリカ	North America Total	319,682	326,176	2.0	191,453	202,314	5.7	97,294	92,683	-4.7	30,935	31,179	0.8
米国	U.S.A.	252,963	255,545	1.0	142,104	148,274	4.3	86,472	82,626	-4.4	24,387	24,645	1.1
カナダ	Canada	56,677	61,565	8.6	42,483	47,917	12.8	8,701	8,198	-5.8	5,493	5,450	-0.8
メキシコ	Mexico	8,067	7,079	-12.2	6,198	5,339	-13.9	1,348	1,213	-10.0	521	527	1.2
その他北アメリカ	North America Unclassified	1,975	1,987	0.6	668	784	17.4	773	646	-16.4	534	557	4.3
南アメリカ	South America Total	10,229	11,416	11.6	5,211	6,239	19.7	2,714	2,725	0.4	2,304	2,452	6.4
ブラジル	Brazil	5,296	6,416	21.1	2,437	3,427	40.6	1,570	1,657	5.5	1,289	1,332	3.3
その他南アメリカ	South America Unclassified	4,933	5,000	1.4	2,774	2,812	1.4	1,144	1,068	-6.6	1,015	1,120	10.3
オセアニア	Oceania Total	85,132	103,925	22.1	63,015	82,858	31.5	13,667	13,449	-1.6	8,450	7,618	-9.8
オーストラリア	Australia	73,222	91,450	24.9	55,872	74,610	33.5	11,138	11,262	1.1	6,212	5,578	-10.2
ニュージーランド	New Zealand	10,870	11,467	5.5	6,655	7,773	16.8	2,326	2,046	-12.0	1,889	1,648	-12.8
その他オセアニア	Oceania Unclassified	1,040	1,008	-3.1	488	475	-2.7	203	141	-30.5	349	392	12.3
無国籍・その他	Stateless	326	418	28.2	245	340	39.0	25	41	61.7	56	37	-33.9

注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国人数である。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含ま

注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURIST ORGANIZATION is mandatory.

2008年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2008

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %
総数 (Total)	1,353,928	-3.8	1,372,626	-0.4	1,455,505	-7.6	1,183,191	-8.3																	5,365,250	-5.1	100.00
男性 (Male)	783,243	-2.5	772,297	0.6	815,268	-6.8	707,559	-6.7																	3,078,367	-3.9	57.38
0～4	10,262	-3.5	7,255	-7.1	8,254	-5.4	8,905	-8.5																	34,676	-6.0	0.65
5～9	12,613	-10.6	6,805	-7.2	14,274	-7.9	10,161	-13.9																	43,853	-10.0	0.82
10～14	10,600	-17.5	4,898	-11.6	20,144	-8.4	8,513	-15.0																	44,155	-12.4	0.82
15～19	12,314	-9.9	11,089	-1.1	29,853	-5.6	5,774	-19.6																	59,030	-7.3	1.10
20～24	26,138	-9.8	66,499	2.5	63,373	-9.9	13,391	-12.5																	169,401	-5.6	3.16
25～29	49,923	-4.9	57,946	1.4	56,109	-6.8	45,640	-10.2																	209,618	-5.0	3.91
30～34	75,393	-7.1	71,250	-3.2	66,145	-9.1	70,192	-10.9																	282,980	-7.6	5.27
35～39	92,817	-3.1	84,229	0.2	83,467	-6.2	85,438	-7.0																	345,951	-4.1	6.45
40～44	95,373	-0.7	86,139	2.1	91,245	-4.1	89,277	-4.2																	362,034	-1.8	6.75
45～49	89,630	0.1	81,636	1.7	88,854	-3.5	84,528	-2.0																	344,648	-1.0	6.42
50～54	78,157	1.1	72,519	2.1	75,608	-3.6	72,048	-1.8																	298,332	-0.6	5.56
55～59	82,072	-8.3	77,279	-7.1	75,878	-13.9	74,884	-13.2																	310,113	-10.7	5.78
60～64	70,892	8.9	68,885	8.1	66,323	-2.6	65,984	-0.3																	272,084	3.4	5.07
65～69	42,754	2.6	42,621	5.3	40,473	-6.8	39,816	-4.9																	165,664	-1.1	3.09
70～	34,305	-0.3	33,247	1.1	35,268	-10.3	33,008	-8.1																	135,828	-4.7	2.53
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-																	0	-	0.00
女性 (Female)	570,685	-5.6	600,329	-1.6	640,237	-8.6	475,632	-10.4																	2,286,883	-6.5	42.62
0～4	9,964	-3.2	7,132	-3.9	8,014	-5.4	8,836	-5.8																	33,946	-4.6	0.63
5～9	12,432	-8.8	6,507	-9.1	13,830	-8.3	9,881	-10.9																	42,650	-9.2	0.79
10～14	10,466	-17.5	4,717	-13.8	19,887	-9.0	8,460	-17.0																	43,530	-13.3	0.81
15～19	15,157	-11.7	15,604	-6.5	42,657	-5.0	8,289	-17.1																	81,707	-7.9	1.52
20～24	55,277	-9.0	133,990	0.0	103,028	-9.6	23,936	-13.2																	316,231	-6.0	5.89
25～29	70,874	-6.4	76,980	-0.8	66,057	-8.9	59,522	-10.6																	273,433	-6.5	5.10
30～34	70,447	-8.0	64,157	-2.4	56,660	-9.3	59,329	-11.9																	250,593	-7.9	4.67
35～39	59,420	-2.2	48,057	1.3	49,700	-5.7	48,156	-9.0																	205,333	-4.0	3.83
40～44	43,138	-2.8	33,320	1.1	44,928	-5.0	35,411	-7.8																	156,797	-3.8	2.92
45～49	34,318	-5.3	30,008	-3.3	41,257	-6.6	29,419	-9.3																	135,002	-6.2	2.52
50～54	36,760	-6.8	36,033	-4.7	40,692	-8.8	32,251	-12.1																	145,736	-8.1	2.72
55～59	48,516	-10.6	46,103	-9.8	46,167	-16.4	45,111	-17.0																	185,897	-13.5	3.46
60～64	46,288	2.9	43,801	3.8	44,626	-7.8	46,372	-5.7																	181,087	-2.0	3.38
65～69	31,741	0.8	30,093	2.4	32,739	-7.8	33,070	-5.3																	127,643	-2.8	2.38
70～	25,887	-1.2	23,827	-1.2	29,995	-10.6	27,589	-8.3																	107,298	-5.9	2.00
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-																	0	-	0.00

注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourist Organization; Source: Ministry of Justice

